



科学技術イノベーション総合戦略2017
「研究開発プロジェクト」(提案書)

別紙2(様式)

(日本工業規格A列4)

◆提案書提出「年月日」を西暦で記載してください。

(西暦) 2017年 月 日

内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当) 行

- ◆住民票に登録されている住所等現在居住している住所を記載してください。
- ◆所属は、所属する企業等の法人の名称及び部署等を記載してください。
- ◆生年月日は、西暦で記載してください。

応募者

住所: 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○X-X-X
 所属: 株式会社○○○○ 研究開発部
 フリガナ: カギ タロウ
 氏名: 科技 太郎
 生年月日: (西暦) 年 月 日生

科学技術イノベーション総合戦略2017「重きを置くべき施策」として認定を取得するため、次のとおり研究開発プロジェクト提案書を提出する。

◆研究開発プロジェクトの名称を記載してください。

1 研究開発プロジェクト名(公表対象項目):

XXXXXXXX の、XXXXXXXXXX に関する研究開発プロジェクト

◆研究開発プロジェクトの実施予定期間を西暦で記載してください。

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間(公表対象項目):

(西暦) 2017年 4月 1日から(西暦) 2020年 3月 1日/(3)年計画の(1)年目

3 応募者(②~④)は公表対象項目)

◆「新規」にチェックマークを記載してください。

① 新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 / <input type="checkbox"/> 継続
② 所属機関	株式会社○○○
③ 所属部局	研究開発部
④ 職名	部長
⑤ 所在地等	〒 <u>XXX-XXXX</u> ○○県○○市○○X-X-X
	Tel: (<u> </u>) <u> </u> — <u> </u> (内線: <u> </u>) / Fax: (<u> </u>) <u> </u> — <u> </u>
	E-Mail: <u>●●●●●●●●@●●●●●●.●●.●●</u>
⑥ 事務担当等	事務担当者名 <u>理ノ部 花子</u>
	所属・役職 <u>株式会社○○○総務部総務課総務係長</u>
	Tel/Fax: (<u> </u>) <u> </u> — <u> </u> (内線: <u> </u>) / (<u> </u>) <u> </u> — <u> </u>
	E-Mail: <u>▼▼▼▼▼▼▼▼@●●●●●●.●●.●●</u>

◆所属する企業等の名称、所属部署、職名(役職)を略さず記載してください。

◆申請者の所属する企業等の所在地(住所)、申請者本人の電話番号、FAX番号、E-Mailアドレスを記載してください。

◆事務担当者がある場合は、事務担当者の所属、連絡先等を当該欄に記載してください。

注1: ①は、提案書が新規審査を希望する場合は、「新規」に、継続審査を希望する場合は、「継続」の口をチェックを記載してください。
 注2: 事務担当者がある場合は、事務担当者の名前、電話、Fax、E-Mailも記載してください。
 注3: 事務担当者の方の住所が応募者と異なる場合には、「所属・役職」欄に郵便番号と住所を記載してください。

4 研究開発プロジェクト

区分	①氏名	②プロジェクト内容	③実施機関	④所属機関(職名)	⑤専門(e-Rad ID)
代表	◆研究代表者名を記載してください。 科技 太郎	プロジェクト全体統括	株式会社〇〇〇 研究開発部	株式会社〇〇〇研究開発部 (部長)	機械工学 (-)
分担	◆全ての研究分担者(予定含む。)を記載してください。 科学 次郎	△△△部分の開発	△△△会社 開発本部××研究所	△△△社開発	◆所属する機関の名称を記載してください。 電子工学 (FFFFFFF)
協力	◆全ての研究協力者(予定含む。)を記載してください。 技術 一男	〇〇〇部分の解析	□□□会社 開発研究管理部	□	経営工学 (-)
	◆分担するプロジェクトの内容を簡潔に記載してください。 開発 良子	助言、基礎情報提供等	〇〇大学工学部	〇〇大学工学部 (教授)	生体工学 (ZZZZZZZZ)

注1:「6 研究開発プロジェクトの発案した対象となる社会課題及びその背景等」から「11 研究開発プロジェクトの具体的実施計画」までの要旨を1,000字程度で記載入してください。
 注2:複数年度にわたる研究開発プロジェクトの場合には、研究開発プロジェクト全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記載してください。
 注3:必要に応じて、流れ図、相関図等を別紙で添付してください。
 注4:「④所属機関(職名等)」欄は、所属している組織及び職名等(職名等は、括弧内記載してください)を記載してください。
 注5:「⑤専門(e-Rad ID)」欄は、御自身が専門と考える分野を記載してください。理システムによって発行されている研究者IDをお持ちの場合には、括弧内記載してください。
 ◆括弧内には、所属機関の役職等を記載してください。
 ◆研究者ID(数字8桁)をお持ちの方は、括弧内に記載してください。お持ちでない方は、記載いただく必要はありません。

5 研究開発プロジェクトの概要(公表対象項目)

◆箇条書き、文書での説明等、記載の様式は問いません。(以下の記載欄も同様とします。)

◆「6 研究開発プロジェクトの発案した対象となる社会課題及びその背景等」欄以降で記載した提案内容から要点等を抽出した研究開発プロジェクトの概要を、当該欄に記載してください。

◆当該項目は、認定された場合に公開部分となりますので、特許等の知的財産権等に関する内容を記載する場合は、記載の仕方に注意するようにしてください。

◆必要に応じて、流れ図等を活用してください。当該記載欄で収まらない場合は、別紙として提案書に添付していただいてもかまいませんが、別紙での流れ図は「日本工業規格A列4の用紙」(いわゆるA4サイズ用紙)1枚に収まるように作成してください。

◆当該項目(流れ図等含む。)の記載に当たっては、研究開発プロジェクト全体が俯瞰できるような内容となるよう努めてください。

◆流れ図等を別紙とする場合には、別紙がどの記載欄と関連するかが分かるように別紙のヘッダに対象となる記載欄の名称を入れる等してください。(以下の記載欄で別紙を用いる場合でも同様とします。)

注1:「6 研究開発プロジェクトの発案した対象となる社会課題及びその背景等」から「11 研究開発プロジェクトの具体的実施計画」までの要旨を1,000字程度で記載入してください。
 注2:複数年度にわたる研究開発プロジェクトの場合には、研究開発プロジェクト全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記載してください。
 注3:必要に応じて、流れ図、相関図等を別紙で添付してください。

6 研究開発プロジェクトの発案した対象となる社会課題及びその背景等

- ◆ 研究開発プロジェクト(アイデア)の発案にあたり、以下の項目等について記載してください。
 - ・ アイデアの発案の起点となった事象について
 - ・ アイデアの発案の起点となった事象に関する社会的背景、関連する要因について
 - ・ アイデアの対象となる直接的、間接的課題(事象) 等

注:発案した対象となる社会課題及びその背景については、適宜文献を引用しながら、1,000字程度で具体的に記入してください。

7 研究開発プロジェクトの目的、目標(期待する将来像、実装イメージ等)

- ◆ 研究開発プロジェクトの実施により「達成したい事項」、「目指す将来像」等を記載ください
 - ・ 実施の目的(具体的、概念的)
 - ・ 実施における目標(具体的、概念的)
 - ・ 期待する将来像
 - ・ 構築したい社会像
 - ・ 実装のイメージ
 - ・ 実施の有効性、必要性について
 - ・ 着眼点、アイデア、プロジェクト等の特異点について
 - ・ アイデア、プロジェクトによる波及効果、要因等及びその関連性について 等

注1:研究開発プロジェクトの目的、目標(期待する将来像、実装イメージ等)については、適宜文献を引用しながら、1,000字程度で具体的に記入してください。

注2:当該研究開発プロジェクト計画に関して現在までに行った研究等、研究開発プロジェクトの最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画と、当該研究開発プロジェクト計画の関係を記載してください。

注3:研究開発プロジェクト期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を記載してください。

8 研究開発プロジェクトの実施で予想される直接的・間接的効果

- ◆研究開発プロジェクトの実施により予想される以下の項目等について記載してください。
 - ・影響を及ぼす事象や要因について
 - ・課題に対する直接的な効果(影響)及び間接的な効果(影響)について
 - ・効果(影響)の根拠と考えられる点について
 - ・間接的対応の場合には、課題への効果に至る要因(事象)、要因(事象)間の関連性、効果等(影響)が伝わる経路等について

注1: 予想される直接的・間接的成果については、行政の施策等への活用の可能性(施策への直接反映の可能性、政策形成の過程等における参考として間接的に活用される可能性、間接的な波及効果等(民間での利活用(論文引用等)、技術水準の向上、他の政策上有意な研究への発展性など)が期待できるか)を中心に600字程度で記載してください。

注2: 当該研究開発プロジェクトが社会課題に対して、どのように貢献するのか等について、その具体的な内容や例を記載してください。

9 研究開発プロジェクトの対象となる「重きを置くべき取組」の項目

- ◆研究開発プロジェクトが対象となる、当該要綱別紙1に規定する対象領域及び別添1の「[C]重きを置くべき取組の「ア」～「エ」以下に記載される項目を記載してください。

なお、複数項目が対象となる場合は、対象となる項目を全て記載してください。

例: 「健康立国のための地域における人とくらしシステム」

ア ICT等の活用による健康等情報の利活用

- ・健康医療介護の具体的な課題に対応する数値処理(例えば、複雑系数理モデル学、離散数学、情報工学等)の数値理論(アルゴリズム化等を含む。)の研究開発

ウ 人にやさしい住宅・街づくりに資する研究

- ・くらしの環境、はたらく環境等で、国民の心身、活動の負荷の低減(効率化)を目的とした、AI、IoT等を活用した無人機器等に関する研究開発

注1: 「第2 対象領域」に定める対象領域を記載してください。

注2: 「注1」に加え、記載した対象領域に対応する「科学技術イノベーション総合戦略2017」の第3章に記載されている「[C]重きを置くべき取組」の最詳細項目の内、提案する研究開発プロジェクトが該当するものを全て記載してください。

10 研究開発プロジェクトと対象領域及び対象項目との関連性

- ◆「9 研究開発プロジェクトの対象となる「[C]重きを置くべき取組」の項目」で選択した項目と、提案する研究開発プロジェクトとの具体的な関連性に関して下記の事項等について記載してください。

- ・選択した項目との直接的な関連性について
- ・選択した項目との直接的な関連性がない場合は、間接的な関連性について
- ・間接的な関連性に関して、項目につながる要因(事象)、要因間の関係等について
- ・提案の研究開発プロジェクトで不足している領域、連携が必要な他の研究開発プロジェクト分野等について
- ・選択した項目に対する想定している効果、その根拠等について

注: 「9 研究開発プロジェクトの対象となる「重きを置くべき取組」の項目」で記載した対象領域及び対象項目と、当該研究開発プロジェクトの具体的な関連性について記載してください。

11 研究開発プロジェクトの具体的実施計画（複数年に渡る場合は各年度の内容も記載すること。）

- ◆ 研究開発プロジェクトの実施に関する以下の内容等を具体的に記載してください。
 - ・ 全体の研究開発計画（詳細な全体計画、年度計画、各分担業務との関連等）について
 - ・ 各分担者（領域）の研究開発計画（詳細な分担全体予定、分担年度別予定、方法等）について
 - ・ 全体及び年度等別での到達目標、評価指標、評価基準等について
 - ・ 代表者及び分担者間の連携方法について
 - ・ 研究開発実施場所について

等

注1：研究開発プロジェクト目的を達成するための具体的な研究開発プロジェクト計画、及び方法を1,600字程度で記載してください。

注2：複数年にわたる研究開発プロジェクトの場合には、研究開発プロジェクト全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。

注3：本研究開発プロジェクトを実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記載してください。

12 倫理、及び情報セキュリティ等に係る対応

- ◆ 研究開発プロジェクトの実施に際して対象となる法令、指針（別添2参照）等を記載するとともに、その対応状況及び今後の対応策等を記載してください。
なお、対象でない場合は、理由等を法令、指針等の条文等を引用すると共に、対象とならない根拠等について記載してください。

注1：科学技術イノベーション総合戦略2017 民間機関等における研究開発プロジェクト公募要綱「第4 応募に関する諸条件等 7 応募に当たっての留意事項（2）」に基づき、対象となる倫理指針を明記するとともに、その具体的な対応内容を記載してください。また、個人情報の保護等の情報セキュリティに関する対応内容も当欄に記載してください。

注2：当該申請の時点で、注1に示した倫理指針等の対象外と判断するプロジェクトは、その旨、及びその理由を記載してください。なお、今後、倫理指針に基づく倫理審査等が必要となった場合の対応策についても記載してください。

注3：「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に規定する倫理審査委員会等の審査結果通知書等を添付してください。

13 研究開発プロジェクトの応募者(代表者)の略歴 (研究発表、論文、書籍等を含む。)

◆提案の研究開発プロジェクトに関連する、研究代表者における下記の項目等を記載してください。

- ・ 学歴、研究歴、職歴等について
- ・ 製品等開発等の実績について
- ・ 所属学会、取得資格・免許等について
- ・ 研究・発表実績、書籍等について。

なお、研究・発表、学術論文等の実績については、学会、学術雑誌等に関わらず商業雑誌であっても記載していただいて構いません。

また、記載する場合には、当該提案に関連する内容で代表的なもので、題名、著者名、雑誌・書籍名、出版年月日(雑誌号数)、掲載頁、出版社等について。

- ・ 賞罰(提案の研究開発プロジェクトの関連以外も含む。)について。 等

◆補助金等によっては、研究開発目的、内容、費用支出等に関して、特定の規則等の順守が支出条件等なっている場合もあることから、当該研究開発プロジェクトの実施に当たってどのような要件が他の補助等によって課せられているかを把握するために記載していただく項目です。

決して、認定の可否に当たって、原資の有無を確認するための項目ではありませんので御注意ください。

注：応募者の職歴、製品等開発実績、賞罰、研究歴、研究・発表実績等に関してのみ参考として記載してください。

14 国庫補助、民間補助等による資金獲得状況
(自社以外からプロジェクト資金を獲得している場合に)

補助実施機関等名 (府省庁・自治体・企業・財団等名称)	補助事業等名称	補助期間(西暦) (補助期間年数)	補助金額(年度) (取得年度(西暦))	備考
〇〇〇省	〇〇〇〇研究費補助金 (〇〇〇事業)	2016/4/1~2017/3/31 (1 年間)	800,000円 (2016年度)	分担
□□□財団	□□□□□研究助成金 (△△△△分野)	2015/4/1~2018/3/31 (3 年間)	15,000,000円 (2013-2015年度)	代表

◆研究費補助等を行っている省庁、財団等の名称を記載してください。

◆補助金等の支給期間を西暦で記載してください。
◆括弧内には、補助期間の年数を記載してください。

◆補助金等を代表としてもらっている又は、分担としてもらっている等について記載してください。

◆研究費補助、助成金等の事業等名称及び具体的補助・助成内容等を記載してください。

◆補助金等の支給額(当該年度)を記載してください。
◆なお、複数年に渡る研究であれば、その合計金額(予定の場合は予定額の合計金額)と補助期間を西暦で括弧内に記載してください。

注1

注2

注3：過去取得した補助金等で当該研究開発プロジェクトに

の目的等との関連性を知るた

ださい。

取得年度-終了年度を記載して

【参考記載項目】

(以下の15~19の事項は、審査の参考となる)

◆「15 科学技術的側面」以降の記載欄は、任意記載欄となります。必須項目ではありません。

15 科学技術的側面(研究開発の前提となる仮説を含む。)(任意記載項目)

◆以下の科学技術的影響等に係る項目等について記載してください。

- ・実施する研究開発に関する科学的な根拠、想定している仮説、関連根拠等を記載してください。
- ・直接的又は間接的にどのような影響がどのような科学技術的領域等にどの程度及ぼすかについて
- ・間接的な影響に関しては、実施の結果等との因果関係を明示しつつ、どのような要因がどのような関連・経路を持って最終的にどのような影響を及ぼすかについて
- ・研究開発プロジェクト実施に際して立てた仮説とプロジェクト内容との関連 等

※なお、必須記載項目で既に記載してある場合には、その旨を記載していただくことで、記載を省略することも可能です。

注: 研究開発プロジェクトの具体的計画策定の前提となる仮説について、適宜文献を引用しながら、必要に応じて説明してください。
注: 科学技術の有用性、研究開発の新規性・独自性、技術の実現性等について、必要に応じて記載してください。

16 社会(公共)・経済的側面(任意記載項目)

◆以下の社会的影響等に係る項目等について記載してください。

- ・社会的領域等に直接的又は、間接的にどのような影響をどの程度及ぼすかについて
- ・経済的領域等に直接的又は、間接的にどのような影響をどの程度及ぼすかについて
- ・間接的にどのような影響について記載する場合は、関連する事象(要因)及びその関連性等についても可能な限り記載してください。 等

※なお、必須記載項目で既に記載してある場合には、その旨を記載していただくことで、記載を省略することも可能です。

注: 研究開発プロジェクトの実施に当たって、地方の能力(潜在的能力を含む。)を活用する内容、女性、在宅勤務者等の多様な人材を活用する内容、研究開発プロジェクト終了後の研究開発成果の事業化への考慮等、必要に応じて記載してください。

17 運営(組織面含む。)的側面(任意記載項目)

◆組織運営について下記の項目等の配慮した点について記載してください。

- ・外部の有識者を運営に当たって参画について
- ・計画・運営スタッフとは、分離した立場で、反対意見を出す権限を有し、異なる視点・観点からのプロジェクトの計画・運営に係る提案が可能な第三者機関を設置した運営体制について
- ・他分野の識者の意見を運営に生かす体制について
- ・現場の意見を反映できる体制を構築について
- ・女性・若手の意見を反映できる体制について 等

注: 研究開発組織・体制の有効性・効率性において特筆すべき点、国際的研究・事業等の展望(諸外国の研究開発状況、業界状況及び知財状況への対応について特筆すべき点)等について、必要に応じて記載してください。

18 研究開発プロジェクトの経費規模(概算)(任意記載項目)

年度(西暦)	プロジェクト経費(概算)単位:円
<u>2016</u> 年度	1,000,000 円
<u>2017</u> 年度	1,000,000 円
<u>2018</u> 年度	1,000,000 円
<u>2019</u> 年度	1,000,000 円
<u>2020</u> 年度	1,000,000 円
合計	<u>5,000,000</u> 円

◆当該プロジェクトに支出を予定している経費総額を記載してください。なお、プロジェクトのために新たな人材確保のための人件費、施設、設備、機器等の購入代金等がある場合は概算で良いのでその合計額を記載してください。

◆なお、複数年でのプロジェクトでの総額予算となっている場合は、開始年度から終了年度を年度欄に西暦で記載し合計欄に総額(例示下線部分)のみ記載してください。

注: 年度毎に設定されていない場合には、総額を合計欄に記載してください。

19 研究開発プロジェクトの、継続提案時、終了時の報告事項(任意記載項目)

(終了時のみ記載。提出は、任意ですが、可能な限り御提出をお願いします。)

- ◆当該項目は、前項までと同様に任意記載欄であり、記載が必須ではありません。
- ◆終了時には、下記について、学術(科学技術)面、社会(公共)面、事業(経済)面、運営(組織含む。)面の4つの観点から記載してください(なお、根拠となる数値データ、分析等がある場合は、可能な限り記載、又は添付してください)。
 - ・成果・結果、及び達成度、並びに得られるに至った要因について
 - ・想定外に成果・結果、及び得られるに至った要因について
 - ・直接及び間接的な効果・影響について
 - ・未達成となった事項、及びその達成度、並びにその要因について
 - ・今後の対応方針・展開等(発展項目、未達成項目等への対応)について
 - ・得られた知識、及び把握できた課題、並びにその活用及び対策について
 - ・その他(今回の応募によって得られた成果、課題 等)について 等
- ◆なお、当該公募に係る、改善点、課題点、改善方法等のお気づきの点がありましたら、終了時以外であっても記載してください。

※第5 研究開発プロジェクトの認定審査項目 3 終了時の報告事項の内容を記載してください。

※継続選定を希望される方は、前年度の成果について当該欄に記載してください。